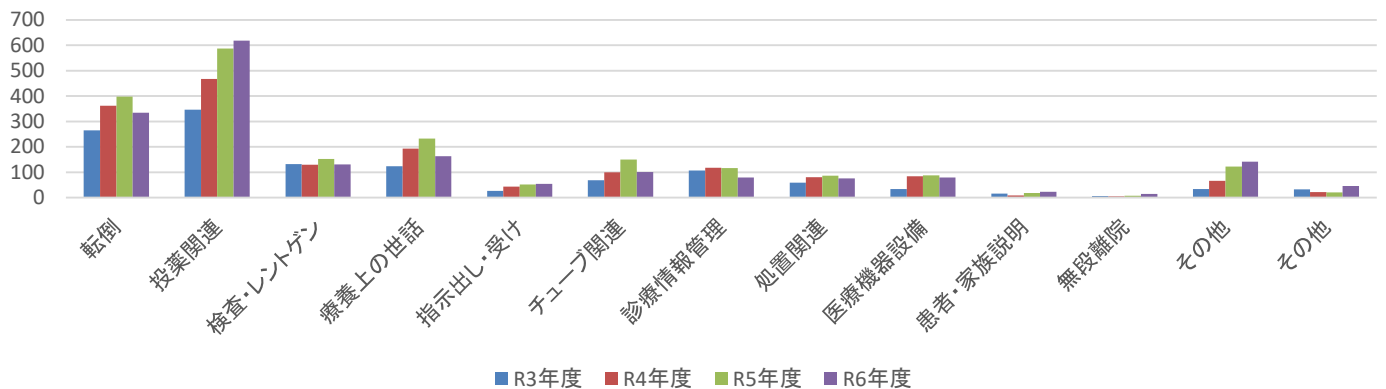


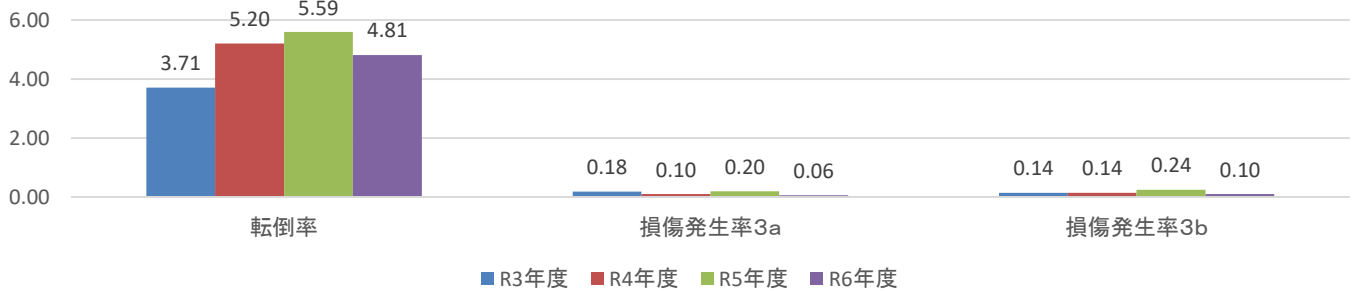
医療安全に関する報告

年度	転倒	投薬関連	検査・レントゲン	療養上の世話	指示出し・受け	チューブ関連	診療情報管理	処置関連	医療機器設備	患者・家族説明	無段離院	その他	その他	合計
R3年度	265	346	132	123	26	68	107	59	34	16	6	34	33	1249
R4年度	362	468	130	193	43	100	118	80	84	9	5	66	22	1680
R5年度	398	587	152	232	52	150	116	86	88	18	7	122	20	2028
R6年度	335	619	131	163	54	101	79	76	79	23	14	141	46	1861

表題別件数の年度比較



転倒発生率と損傷発生率の年度比較



医療安全に関する報告は令和6年度は1861件と昨年度と比較し348件減少しています。そのうちゼロレベルの報告は801件、レベル1は689件であった。医療安全の報告の習慣化が向上おり、未然に防ぐことができた事例をもとに部署で予防策を導き出し、習慣化できるよう検討しています。またタイムリーな事例報告と事実確認、対策について現地で確認をしています。

転倒予防対策では『転んでも怪我しない対策』が実践できるよう、リハビリり依頼以外でも必要であれば認知評価を行っています。また安全環境ラウンドを継続して実施し、補助具の使用の調整、院内デイケアを活用した高齢者援助を行っています。医療安全管理者とりハビリスタッフ、認知症認定看護師とともに病棟スタッフからの日常生活上の情報を確認しながら療養環境を検討、調整しています。

転倒・転落に関する指標として当院の転倒率は4.81%と減少しており、損傷発生率は、3a(治療を要するが軽傷のもの)が0.06‰、3b(骨折等の手術などの治療を要するし入院期間が延長するもの)が0.1‰と減少し、日々の対策が結果につながったといえます。